陳情第4号

陳情書

代執行により沖縄を犠牲にすることをやめ「対話」にて問題の解決を図ることを求める意見書の提出を求める陳情

陳情趣旨

前例なき国の代執行により沖縄県知事の権限が奪われ、沖縄県の同意のないまま海へ土砂が投入されています。2019年2月24日に実施された辺野古大浦湾埋め立ての賛否を問う沖縄県民投票で示された県民の民意が蔑ろにされ、大浦湾の豊かな海が国によって破壊されています。沖縄県に国の代執行が行使され、政府によって地方自治法改正案が閣議決定され、国と地方は対等という地方自治の原則が国によって破られるのではないかと危惧します。

日本は「国」が市民に対して強権をふるった時代に逆戻りしているかのようです。

私たち市民は、国民である以前に一人の人間です。自分が暮らす地域の平和な営み、命、環境が「他国」であれ、「自国」であれ、「国」の暴力によって脅かされることなく幸福に生きることを願うのは人として当然のことであり、憲法に定められた国民の権利です。しかし沖縄では、そのような当たり前の市民の願いや権利が踏みにじられ、奪われています。水と土壌の汚染、空からの落下物、米軍による事件事故の多発、世界一危険な米軍基地が国と私たちヤマトンチュによって沖縄に押し付けられています。

世界一危険といわれる普天間飛行場も戦前は豊かな田畑が広がり、松並木の街道沿いに人々が暮らす美しい集落でしたが米軍に接収され、世界一危険な基地となったのは復帰前後に日本から沖縄に海兵隊基地が移設されてからのことです。そして、2012年には県民の同意を得ずにオスプレイも配備されました。その普天間飛行場の早期危険除去のためとの理由で、沖縄県民の意向を蔑ろにして貴重な自然を破壊し軟弱地盤の海を埋め立て辺野古新基地を建設することが唯一の解決策なのでしょうか。どこも負担したくない危険な基地を沖縄に閉じ込めて問題解決を図るべきではありません。そこに住む人々の命と安全、平和な暮らしの環境を住民の同意なく破壊することは戦争と同じです。国による暴力です。私たちは日本国民として、そのような国の暴力に加担したくありません。

代執行の行使により、強引に自分たちの利益のために沖縄を犠牲にすることを今すぐやめるべきです。沖縄の意見を十分に聴き「対話」で問題解決を図ることを求める下記事項についての意見書を地方自治法第99条の規定により、国及び関連機関に提出を願います。

陳情項目

- 1 代執行により沖縄を犠牲にすることをやめること
- 2 沖縄県の意見を十分に聴き「対話」で問題解決を図ること

令和6年5月24日

代執行により沖縄を犠牲にすることをやめ「対話」にて問題の解決を図ることを求める意見書（案）

前例なき国の代執行により沖縄県知事の権限が奪われ、沖縄県の同意のないまま海へ土砂が投入された。2019年2月24日に実施された辺野古大浦湾埋め立ての賛否を問う沖縄県民投票で示された県民の民意が蔑ろにされ、大浦湾の豊かな海が国によって破壊されている。沖縄県に国の代執行が行使され、政府によって地方自治法改正案が閣議決定され、国と地方は対等という地方自治の原則が国によって破らようとしている。「国」が市民に対して強権をふるった時代に逆戻りしている。

私たち市民は、国民である以前に一人の人間である。自分が暮らす地域の平和な営み、命、環境が「他国」であれ、「自国」であれ、「国」の暴力によって脅かされることなく幸福に生きることを願うのは人として当然のことであり、憲法に定められた国民の権利である。しかし沖縄では、そのような当たり前の市民の願いや権利が踏みにじられ、奪われている。水と土壌の汚染、空からの落下物、米軍による事件事故の多発、世界一危険な米軍基地が国と私たちヤマトンチュによって沖縄に押し付けられている。

世界一危険といわれる普天間飛行場も戦前は豊かな田畑が広がり、松並木の街道沿いに人々が暮らす美しい集落であった。米軍に接収され、世界一危険な基地となったのは復帰前後に日本から沖縄に海兵隊基地が移設されてからのことである。そして、2012年には県民の同意を得ずにオスプレイも配備された。その普天間飛行場の早期危険除去のためとの理由で、沖縄県民の意向を蔑ろにして貴重な自然を破壊し軟弱地盤の海を埋め立て辺野古新基地を建設することが唯一の解決策なのか。どこも負担したくない危険な基地を沖縄に閉じ込めて問題解決を図るべきではない。そこに住む人々の命と安全、平和な暮らしの環境を住民の同意なく破壊することは戦争と同じである。国による暴力である。私たちは日本国民として、そのような国の暴力に加担したくない。

代執行の行使により、強引に自分たちの利益のために沖縄を犠牲にすることを今すぐやめるべきである。沖縄の意見を十分に聴き、対話で問題解決を図ることを求める。

記

- 1 代執行により沖縄を犠牲にすることをやめること
- 2 沖縄県の意見を十分に聴き「対話」で問題解決を図ること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

山形県寒河江市議会
議長 柏 倉 信 一

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
外務大臣
厚生労働大臣
国土交通大臣
環境大臣
防衛大臣
沖縄基地負担
軽減担当大臣

宛て